

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所 			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが今後の生活において社会的に必要とされる能力・コミュニケーション力・ADLの向上に着目し個々に合った形で支援を行う。 (視覚的支援が必要な子に対しては、目で分かる形で活動手順や一日の流れスケジュール表を活用し理解できる形で支援・身体面での介助が必要な子においてはトイレでの手すりの活用や食事・移動の補助を必要に応じた程度で支援を行う。) (子どもたちの意思表示を確認する手段として本人の声・筆談・視線の読み取り・絵カードの使用等、子どもたちの表現しやすい手段でやり取りを行う。) ・活動を通じて新しい経験、また興味関心の幅が広がるように活動内容の工夫を行う。(感覚的・視覚的双方で小等部～高等部の幅広い年代でも楽しめる様に行う。) 			
営業時間	14 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 着替えや身だしなみの直し等の補助に入り整容行為における本人のスキルアップを行う。 室内の温度・湿度に配慮し換気・消毒を適宜行う。 食事の介助を通じて本人が出来る事を増やしていく様に支援を行う。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 五感を活かせる活動や遊び、ボッチャ等の身体を動かしていく活動を適宜、取り入れ感覚機能・運動機能の向上に向けて支援を行う。 必要に応じて関節の拘縮や変形予防・運動機能の維持を目的とした遊びや運動の機会を設けていく支援を行う。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚の過敏性・鈍麻性に配慮して五感を使い得た情報を基に遊びや活動内で認知機能の発達を促していく様に支援を行う。(感覚遊びを取り入れる等) 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 意思表示の形態にそれぞれ合わせて絵カードやサイン・指差し等を用いて気持ちを伝えていく様に支援を行う。 正しい伝え方や言い回し等は適宜、職員の介入をし伝えていく様に支援を行う。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーションゲームを通じての集団で関わる場面の提供をして、年齢に応じて見本として行ってもらう等の役割を持ってもらえる様に支援を行う。 一人遊び・並行遊びでの共通点から子どもたち同士の遊びの機会や繋ぎとなれる様に支援を行う。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの過ごしに対しての情報共有や障害に関する情報の提供を行う。 家族の子育ての困りに対しての情報共有や解決策の提示を必要に応じて行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さまの現在の様子を共有し、今後の進路（進学・就職等）に向けた支援内容の検討・情報共有を図る。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校との情報共有や、相談支援事業所との連携、他で通っている放課後等デイサービス同士での連携を行う。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な講習実地（救命救急等） ・朝礼（毎日）、事業所内ミーティング、 エリア内管理者ミーティング（月1回）の実地 	
主な行事等	夏祭り(8月)、BBQ(9月)、運動会(10月)、秋祭り(11月)、クリスマス会(12月)、新年会(1月)、豆まき会(2月)、卒業お祝い会、お別れ会(3月)			

事業所名 クッキングハウス

支援プログラム

作成日

令和6 年

7 月

1 日

法人（事業所）理念	・一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所			
支援方針	各教室(PC、造形、料理、就労体験)やお出かけ行事等、様々な活動を通して、お子様のスキルアップ、療育支援を行う。			
営業時間	14 10 時 00 00 分から 17 15 時 00 00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
	支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の健康状態について職員間で情報共有し、観察を行う。 ・自立に向け、整容行為の支援を行い、基本的な生活スキルを身につけられるようにする。 ・事前にタイムスケジュールを提示または伝え、見通しを持って活動や教室に参加することが出来るようする。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が好む遊び(鬼ごっこ、だるまさんが転んだ等)を活動の中に積極的に取り入れ、視覚、聴覚等感覚の活用に繋げる。 ・自力での身体移動が難しいお子様に対し、活動や教室の中で身体を動かせる機会を設け、筋力の維持、強化を図る。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の指示を理解し行動することが出来るよう、声掛け、絵、文字等を活用しながら、お子様の理解しやすい方法を工夫し支援する。 ・必要に応じて職員が見本を示し、具体的に理解しやすい環境を工夫する。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法(指差し、手話、言葉等)を活用しながら自分の気持ちを相手に伝えられるよう、コミュニケーション能力向上の為の支援を行う。 ・文字、絵、ジェスチャー等でコミュニケーションを図り、意思の伝達が出来るように支援する。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動、教室を通し、職員や友達との関わりを深め、安心して過ごしてもらえるような環境を作る。 ・集団生活の中で、集団に参加する為のルールや決まりを理解し、遊びや活動等に参加することが出来るよう支援する。 		
家族支援	今後の進路(進学、就職等)を見据え、自立に向けた支援として、情報共有を図りながら、具体的な支援方法を提示する。	移行支援	お子様の現在の様子を共有し、今後の進路(進学、就職等)に向けた支援の見直し、情報共有を図る。	
地域支援・地域連携	※移行支援参照	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な講習実地(救命救急等) ・朝礼(毎日)、事業所内ミーティング、 エリア内管理者ミーティング(月1回)の実地 	
主な行事等	夏祭り(8月)、BBQ(9月)、運動会(10月)、秋祭り(11月)、クリスマス会(12月)、新年会(1月)、豆まき会(2月)、卒業お祝い会、お別れ会(3月)			

事業所名

And You スポーツパーク

支援プログラム

作成日

令和6 年

7 月

1 日

法人（事業所）理念		・一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所					
支援方針		・身体を動かして楽しんでもらえるようにすることを大前提とした支援を行っている。ダンス・フットサルを通してのあいさつ・礼儀・スポーツマンシップの重要さを伝えている。また、活動の中で利用者さまと職員の関係性と信頼を深めていき、心と身体の成長を促す支援を心がけている。					
営業時間		14 時 00 分から 17 時 00 分まで	10 00	15 00	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	・お子様の健康状態について職員間で情報共有し、観察を行う。 ・自立に向け、整容行為の支援を行い、基本的な生活スキルを身につけられるようにする。 ・事前にタイムスケジュールを提示または伝え、見通しを持って活動や教室に参加することが出来るようする。					
	運動・感覚	・お子様が好む遊び(鬼ごっこ、だるまさんが転んだ等)を活動の中に積極的に取り入れ、視覚、聴覚等感覚の活用に繋げる。 ・フットサル活動内で両手両足でボールを扱うことによって脳により刺激を与え、指先・足先の感覚を養えるようにする。					
	認知・行動	・職員の指示を理解し行動することが出来るよう、声掛け、練習内容等を活用しながら、お子様の理解しやすい方法を工夫し支援する。 ・必要に応じて職員が見本を示し、具体的に理解しやすい環境を工夫する。					
	言語 コミュニケーション	・ダンス、フットサル活動の中で声を掛け合う事はもちろん、目を合わせたりジェスチャーでタイミングを合わせることにもチャレンジし、言語的・非言語的コミュニケーション能力を養えるようにする。					
	人間関係 社会性	・フットサルを通し、集団の中でのルールを守れるように声掛け・支援を行う。 例：試合形式・複合練習（ドリブル・パス・シュートを含めた練習）等 ・相手がいてこそ試合ができる、自分一人ではチームスポーツはできない、という事を理解できるよう声掛けをし、誰に対してもあいさつ・礼儀やスポーツマンシップを大事にしながら接していく様支援を行う。 例：活動前、試合前のあいさつを揃って行う・到着時にお互いにあいさつができるよう促す等					
家族支援		今後の進路(進学、就職等)を見据え、自立に向けた支援として、情報共有を図りながら、具体的な支援方法を提示する。	移行支援		お子様の現在の様子を共有し、今後の進路(進学、就職等)に向けた支援の見直し、情報共有を図る。		
地域支援・地域連携		プロフットサルチーム「ヴォスクオーレ仙台」とのイベント実地や、ホームゲーム開催時に選手と関わりをもつことで、職員以外の地域の方々とも交流がもてるよう環境作りを行なっている。	職員の質の向上		・定期的な講習実地（救命救急等） ・朝礼（毎日）、事業所内ミーティング、エリア内管理者ミーティング（月1回）の実地		
主な行事等		フットサル大会(7月)、夏祭り(8月)、BBQ(9月)、運動会(10月)、秋祭り(11月)、クリスマス会(12月)、新年会(1月)、節分(2月)、卒業お祝い会、お別れ会(3月)					

事業所名 AndYouフレンドパーク

支援プログラム

作成日

令和6 年

7月

1日

法人（事業所）理念	・一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所				
支援方針	・個性を大切にしながら、各教室(音楽、料理・牧場体験)やお出かけ行事等、様々な活動を通して、お子様のスキルアップ、療育支援を行う。				
営業時間	14時00分から 10 00 分から 17時00分まで 15 00	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・お子様の健康状態について職員間で情報共有し、観察を行う。 ・自立に向け、整容行為の支援を行い、基本的な生活スキルを身につけられるようにする。 ・事前にタイムスケジュールを提示または伝え、見通しを持って活動や教室に参加することが出来るようする。			
	運動・感覚	・教室(音楽・キッズヨガ・ダンス)や牧場体験を通して、視覚、聴覚等感覚の活用に繋げる。 ・牧場での乗馬体験などをして、身体を動かして体力の維持・強化を図る。			
	認知・行動	・職員の指示を理解し行動することが出来るよう、声掛け、絵、文字等を活用しながら、お子様の理解しやすい方法を工夫し支援する。 ・必要に応じて職員が見本を示し、具体的に理解しやすい環境を工夫する。			
	言語 コミュニケーション	・様々な方法(指差し、手話、言葉等)を活用しながら自分の気持ちを相手に伝えられるよう、コミュニケーション能力向上の為の支援を行う。 ・文字、絵、ジェスチャー等でコミュニケーションを図り、意思の伝達が出来るように支援する。			
	人間関係 社会性	・遊びや活動、教室を通し、職員や友達との関わりを深め、安心して過ごしてもらえるような環境を作る。 ・集団生活の中で、集団に参加する為のルールや決まりを理解し、遊びや活動等に参加することが出来るよう支援する。			
家族支援	利用者さまの日々の様子を共有し、支援内容を相談・提示していく事で支援の質向上を目指す。また、ご家族さまと積極的に会話を交わす事で、ご家庭での悩み等を相談しやすい環境に繋げていく。	移行支援	利用者さまの現在の様子を共有し、今後の進路（進学・就職等）に向けた支援内容の検討・情報共有を図る。		
地域支援・地域連携	※移行支援参照	職員の質の向上	・定期的な講習実地（救命救急等） ・朝礼（毎日）、事業所内ミーティング、 エリア内管理者ミーティング（月1回）の実地		
主な行事等	夏祭り（8月）・BBQ（9月）・運動会（10月）・秋まつり（11月）・クリスマス会（12月）・新年会（1月）・節分（2月）				

事業所名

AndYouぽけっと

支援プログラム

作成日

令和6 年

7月

1日

法人（事業所）理念		・一人ひとりが楽しいから来たいと思える事業所 /・子供たちの成長につながる支援を意識しよう /・意見を出し合いながら互いに信頼し、協力できる事業所						
支援方針		・将来、社会的自立ができるようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に合った内容を考え、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などの指導を行う。						
営業時間		14 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし			
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・着替えや食事・トイレ・片づけ、持ち物の管理など、日常的に行う基本の生活動作について、発達段階に応じて習得するためのサポートを行う。						
	運動・感覚	・ブロックやボール、様々な道具を使った運動や全身を使った動き（粗大運動）、机上での手先を使った工作や各種課題など、複雑な運動（微細運動）の発達を促すためのサポートを行う。						
	認知・行動	・色や数、大小、長短、高低といった比較的に関する基本的な概念、言語理解などといった認知発達を促すためのサポートを行う。 活動の中では、指示の聞き取りや順番を守ること、おもちゃやその他道具の貸し借り、名前を呼ばれたら返事をするなど様々な場面において必要な行動を経験できるよう支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	・有意語（意味のある言葉、パパ・ママなど）や2語文（単語と2つ組み合わせる、ママとてなど）を増やしていくなど発言や発話を促すサポートや、語彙や簡単な文章、支持の理解を促すサポート、他者に対して自分の意見や要求を伝えるための対人でのやり取りを積み重ね練習していく。						
	人間関係 社会性	・集団での活動を通して、指示を聞いて行動することやルールを守ること、仲良くお互いを尊重しあいながら活動できるよう支援を行う。 ・挨拶や返事など、対人関係において基本となる関わり方や接し方を学ぶためのサポートを行う。						
家族支援		・指導後のフィードバックや保護者面談、お子様の発達状況や支援ニーズの確認。 お子様との関わりやコミュニケーションの取り方などに対する相談や助言を行う。	移行支援	・同法人内に就労支援の事業所があり、希望者を対象に見学会や体験学習を実施している。 ・就労施設などへお出かけし、仕事をするところがどんな場所か自分の目で見て感じてもらう。				
地域支援・地域連携		・行政をはじめ児童発達支援センター、保育所など関係機関がお互い連絡を取り合い、利用者の発達をサポートするための具体的な方法を考え、よりよい方法を実践する。	職員の質の向上	・児童発達支援管理責任者・サービス管理責任者等の資格取得の促進。 ・各種外部研修の受講、社内研修の実施。 ・法人内での交換研修。				
主な行事等		・お出かけ（土・長期休み）、各種イベント（行事毎）、買い物学習、各種運動、おやつ作り、工作活動、お誕生日会、読み聞かせ等						

事業所名

AndYou TRY

支援プログラム

作成日

令和6 年

7月

1日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所 			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 各教室(PC、eスポーツ、音楽、ズンバダンス、フットサル)や外出活動等、様々な活動を通してスキルアップや他者と円滑にコミュニケーションが取れるよう人との関りを大切にしながら、コミュニケーション能力の向上を目指す支援を行っている。 利用者さまの気持ちを尊重しながら、心と体の成長を促す支援を大切にしている。 			
営業時間	14 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> お子様の健康状態について職員間で情報共有し、観察を行う。 自立に向け整容行為の支援を行い、基本的な生活スキルを身につけられるようにする。 事前にタイムスケジュールを提示または伝え、見通しを持って活動や教室に参加することが出来るようする。 		
	運動・感覚	<p>音楽教室では自発性や身体の運動性の向上、表情や感情の表出を目指した支援を行っている。 また運動活動ではズンバダンス教室、フットサル教室を通し、体を動かす事での脳への刺激を促し、丈夫でバランスのとれた体を育んでいる。</p>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 職員の指示を理解し行動することが出来るよう、声掛け、絵、文字等を活用しながら、お子様の理解しやすい方法を工夫し支援する。 必要に応じて職員が見本を示し、具体的に理解しやすい環境を工夫する。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 正しい言葉の遣い方や相手の気持ちを考えた伝える力（発語・ジェスチャー等）を身に付け、他者と円滑にコミュニケーションが取れるよう支援を行う。 コミュニケーション能力の向上を目指し、相手の話を聞く力、相手の質問に答える力を培っていく。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動、教室を通し職員や友達との関わりを深め、安心して過ごしてもらえるような環境を作る。 集団生活の中で、集団に参加する為のルールや決まりを理解し、遊びや活動等に参加することが出来るよう支援する。 		
家族支援	利用者さまの日々の様子を共有し、お互いに相談し合うことによってよりよい支援を目指す。また、ご家族さまの支援についての悩み等にも耳を傾けていき、解決できるように働きかけていく。	移行支援	お子様の現在の様子を共有し、今後の進路(進学、就職等)に向けた支援の見直し、情報共有を図る。	
地域支援・地域連携	地域に根差したチームを目指すプロフットサルチーム「ヴォスクオーレ仙台」と同法人であることから、イベント時やホームゲーム開催時に選手との関りや、音楽教室（ミューズの夢）やズンバダンス教室の講師との関りを通して、職員以外の地域の方々と交流・連携を図る。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な講習実地（救命救急等） 朝礼（毎日）、事業所内ミーティング、エリア内管理者ミーティング（月1回）の実地 	
主な行事等	フットサル大会（7月）、各種季節のイベント、買い物学習			

法人（事業所）理念		・一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所			
支援方針		・ダンス教室やカワイ音楽教室、ドローン教室など曜日ごとに設けた様々な教室活動を通して、自分の「好き！得意！」を見つけてもらい新しい観点から個々の能力を伸ばしていく支援を行う。 ・就職や進学、グループホームなど、将来の自立に向けてできることを活動の中で増やしてもらい、自分の自信へと繋がる支援を行う。			
営業時間		14 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・お子様の自立に向け、活動の中で生活に必要なスキル（挨拶・身支度・食事・排泄）を身に付けていくよう支援を行う。 ・お片付けやおやつの時間など、お子様が日々の生活を過ごしていく中で、自分の力で見通しを持ったスケジュールを組めるよう環境を整える。			
	運動・感覚	・畑作業を通して土や水などの自然に触れ、自分の力で育てた野菜や果物を収穫し食べることで喜びや達成感を育んでいく。 ・教室活動や畑作業を通して運動能力の向上や自然への関心を高め、さまざまな観点からの興味・関心、新しい発見を見つける力を養う。			
	認知・行動	・公共の場や集団の場など様々な場所に合わせた行動を習得できるように多様な活動環境を設け支援を行う。 ・活動を通して「関わる人・物の名前・使用する言葉」などを覚える機会を設け、さまざまな経験を積んでいくよう支援を行う。			
	言語 コミュニケーション	・正しい言葉の使い方や相手へ気持ちを伝える力（発語・ジェスチャー・絵カードやサイン等）を身につけられるよう支援を行う。 ・相手の目を見て会話を行い、聞かれたことに答えたり、相手のお話を聞く能力を養っていくよう支援を行う。			
	人間関係 社会性	・様々な年代のお友達との交流を通して、社会でのルールやマナーを学べる環境作りを行い、社会性を身につける支援を行う。 ・活動の中で思い通りの結果が出なかった場合でも「頑張った！」「次は頑張ろう」という前向きな気持ちで結果を受け入れ、切り替えられる力を身につけられるよう支援を行う。			
家族支援		・日々のお子様の様子に対してご家庭で不安に思っていることなどの情報の共有を行い、解決策の提案や支援内容の検討を必要に応じて行う。	移行支援	利用者さまの現在の様子を共有し、今後の進路（進学・就職等）に向けた支援内容の検討・情報共有を図る。	
地域支援・地域連携		地域との繋がりを求める活動として、ウォスクオーレ仙台の選手やダンス教室・カワイ音楽教室の講師との関わりを通じて、職員以外の地域の方々との交流をしながら連携を図る。	職員の質の向上	・定期的な講習・研修の実地、参加 ・朝礼（毎日）、事業所内ミーティング ・管理者ミーティングの実地	
主な行事等		フットサル大会（7月）、お泊り会（7月/8月）、運動会（9月）、芋煮会（10月）、親子遠足（11月）、クリスマス会（12月） 新年会（1月）、豆まき・恵方巻作り（2月）、卒業お祝い会（3月）			

事業所名

AndYouわくわくハウス

支援プログラム

作成日

令和6 年

7月

1日

法人（事業所）理念	・一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所			
支援方針	・様々な年代のお友達や職員・講師との関わりの中で、他者との円滑なコミュニケーション能力を身に付けていくよう支援を行なっている。 ・フットサル、ダンス活動では挨拶や礼儀の大切さ、英語教室やドローン教室では集中力を高めていきながら興味の幅を広げていくよう支援を行なっている。 ・利用者さまの気持ちに寄り添いながら、心と身体の成長を促す支援を行う。			
営業時間	14 時 00 分から 17 時 00 分まで 10 00 15 00	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	・お子様の健康状態や精神状態について職員間で情報を共有し、利用者さまに合わせた支援を行なっていく。 ・自立に向け、整容行為や基本的生活スキルを身に付けていくよう支援を行なう。 ・身体を動かす活動を通して、体力向上や健康的な身体作りを促していく。		
	運動・感覚	・フットサルやダンス活動を通して、身体全体を動かす事で脳への刺激を促し、指先や足先の感覚を養っていく。 ・利用者さまが楽しみながら、視覚や聴覚・反射神経等の感覚を養っていくような活動を取り入れていく。（例：ボール遊び、公園遊び等）		
	認知・行動	・教室活動と自由活動を通して、場面に合わせた行動を考え実行していくよう支援を行なう。 ・職員や教室講師の指示を理解し行動ができるよう、必要に応じて職員が見本を示す等の環境作りを行なう。		
	言語 コミュニケーション	・自分の気持ちや意見を伝える機会（自由時間やフットサル中の作戦会議等）を設け、職員が間に入りながら発言を促す。 ・どのような場面でも、冷静に自分の気持ちを他者に伝えながら生活していくよう、必要に応じて職員がモーデリングを行ないながら支援を行なう。 ・フットサル活動を通して、ジェスチャーや指差し、目を合わせる事でタイミングを合わせる等、非言語コミュニケーション能力も養っていく。		
	人間関係 社会性	・様々な年代のお友達との関わり合いの機会を設け、相手に合わせた関わり方を身に付けていく。 ・集団活動やお出かけ活動の中で、決まりや基本的ルールを理解しながら参加していくよう支援を行なう。 ・活動の始まりと終わりの挨拶は揃って行なう事を大切にし、礼儀やスポーツmanshipを意識していくよう環境作りを行なう。		
家族支援	利用者さまの日々の様子を共有し、支援内容を相談・提示していく事で支援の質向上を目指す。また、ご家族さまと積極的に会話を交わす事で、ご家庭での悩み等を相談しやすい環境に繋げていく。	移行支援	利用者さまの現在の様子を共有し、今後の進路（進学・就職等）に向けた支援内容の検討・情報共有を図る。	
地域支援・地域連携	プロフットサルチーム「ウォスクオーレ仙台」とのイベント実地や、ホームゲーム開催時に選手と関わりをもつことで、職員以外の地域の方々とも交流がもてるよう環境作りを行なっている。	職員の質の向上	・定期的な講習・研修の実地、参加 ・朝礼（毎日）、事業所内ミーティング ・管理者ミーティングの実地	
主な行事等	フットサル大会（7月）、お泊り会（7月/8月）、運動会（9月）、芋煮会（10月）、親子遠足（11月）、クリスマス会（12月） 新年会（1月）、豆まき・恵方巻作り（2月）、卒業お祝い会（3月）			

事業所名

AndYou楽楽

支援プログラム

作成日

令和6 年

7月

1日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所 			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動の中で、初めての経験を増やし自分から「これがやりたい。」と選択肢を増やしていけるような支援をしていきます。 多様な学年との集団生活を通してコミュニケーション力の向上を目指し、お互いを思いやる心を育てていきます。 			
営業時間	14 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の自立を目指し、職員が個別に対応・動作支援をしていきます。（食事・衣類の着脱・トイレの排泄） 見通しをもって意欲的に生活・活動へ取り組むことをを目指し、個々に応じた支援をしていきます。（文字、イラスト、カード等を使用） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動教室を通して、身体の動かし方や表現力・バランス感覚を養っていく。 一人一人に合わせた運動活動を行うことで、身体を動かす楽しみや最後まで取り組む力を培っていきます。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 工作活動や季節に応じた活動を通して、「感性や想像力」、「色彩感覚や動作機能の向上」を養っていきます。 場面に応じた切り替えを身につけていけるよう、活動時間の区切りにチャイム音やイラスト・カードを用いて時間の認知を支援していきます。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な意思表示の習得を目指し、言語だけではなく「指さし、支援カード」など一人一人に合わせた支援を行いコミュニケーション能力の向上を目指していきます。 集団生活を通してお友達との関わりを増やし、他者への関心、共感、おもいやり等のコミュニケーション能力の向上を目指していきます。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小学生～高校生までの幅広い年代の友達との集団活動を通して、順番や時間、決まりなどを学ぶ環境を作り支援していきます。 様々な友達との遊びを通して、円滑なコミュニケーション能力の習得を目指し、職員が間に入りモデリングを行いながら支援していきます。 		
家族支援	利用者さまの日々の様子を共有し、支援内容を相談・提示していく事で支援の質向上を目指す。また、ご家族さまと積極的に会話を交わす事で、ご家庭での悩み等を相談しやすい環境に繋げていく。	移行支援	利用者さまの現在の様子を共有し、今後の進路（進学・就職等）に向けた支援内容の検討・情報共有を図る。	
地域支援・地域連携	定期的にイベントを実施し、他事業所との交流や保護者様の情報交換の場を設けている。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な講習・研修の実地、参加 朝礼（毎日）、事業所内ミーティング 管理者ミーティングの実地 	
主な行事等	フットサル大会（7月）、お泊り会（7月/8月）、運動会（9月）、芋煮会（10月）、親子遠足（11月）、クリスマス会（12月） 新年会（1月）、豆まき・恵方巻作り（2月）、卒業お祝い会（3月）			

事業所名

AndYou なとり

支援プログラム

作成日

令和6 年

7月

1日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが「楽しいから来たい」と思える事業所 				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 身体の健康と心の安定を目指した支援を行っている。 食へ興味を引き出し、体力・免疫力を高めていく食育支援を行っている。 想像力をもって他者と関り、協調性を育んでいくことを目標に、定期的な教室活動も行っている。 				
営業時間	14 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり	なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態や精神状態について職員間で情報を共有し、適切な支援を行う。 自立に向け、整容行為の支援を行い、基本的な生活スキル・マナーを身に付けられるように支援を行う。 食に関する知識を育み、食の楽しみを伝える。（食育） 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 身体を動かす活動を通して、体力向上や感覚統合の発達を促す。（バランスボール、体育教室等） 活動の中で、五感を刺激する遊びを取り入れ、感覚機能の向上を促す。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容やタイムテーブルを前もって伝え、時間を意識した行動を促し、気持ちの切り替えがスムーズにできるよう支援を行う。 季節を感じられるような環境、活動プログラムにて支援にあたる。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを丁寧に伝えることで、思いが伝わるという成功体験を積めるよう、職員が間に入り、支援を行う。 自分の気持ちや、経験を発表する場を設ける。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動、集団生活の中でのルールを理解し、楽しい活動ができるように支援を行う。 様々な活動の中で、他者を知り、関りを深めていけるよう、職員が間に入り、支援を行う。 			
家族支援	利用者様の成長や気付きを共有し、支援内容を相談しながら、より良い支援を目指していく。	移行支援	利用者様の現在の様子を共有し、今後の進路（進学、就職等）に向けた支援内容の検討、情報共有を図る。		
地域支援・地域連携	プロフットサルチーム「ヴォスクオーレ仙台」とのイベント実地や、ホームゲーム開催時に選手と関わりをもつことで、職員以外の地域の方々とも交流がもてるよう環境作りを行なっている。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な講習・研修の実地、参加 朝礼（毎日）、事業所内ミーティング 管理者ミーティングの実地 		
主な行事等	フットサル大会（7月）、お泊り会（7月/8月）、運動会（9月）、芋煮会（10月）、親子遠足（11月）、クリスマス会（12月） 新年会（1月）、豆まき・恵方巻作り（2月）、卒業お祝い会（3月）				